

関係機関・団体・課・室長様

兵庫県農政環境部長

平成26年度兵庫県農業気象技術情報第4号(8月情報)について(送付)

このことについて、下記のとおり情報を作成しましたのでお送りします。

なお、気象庁のエルニーニョ監視速報(No.262)によると、夏にエルニーニョ現象が発生する可能性はこれまでの予測より低くなったが、秋に発生する可能性が高いと発表されていることを申し添えます。

記

1 気象経過・予報から想定される栽培上の留意点と対応策

| 作物 | 地域   | 栽培上の留意点   | 対応策   |
|----|------|---|---|
| 水稲 | 全県共通 | <p>1 生育状況</p> <p>県南部の生育はやや早く、茎数が少ない。出穂はやや早くなる見込みである。</p> <p>県北部では、生育がやや早く、茎数が多い。出穂はやや早くなる見込みである。</p> <p>2 病害虫</p> <p>(1) いもち病の発生は、県全体では平年並であるが、一部ではやや多発している圃場もあり、今後の天候によっては穂いもちの発生につながる恐れがある。</p> <p>(2) ヒメトビウンカはやや多く、セジロウンカ、トビイロウンカ、ツマグロヨコバイは平年並と予想される。今後の発生の推移に留意する。特にヒメトビウンカは西播磨地域での保毒虫率が昨年と同様に高い水準で推移しており、縞葉枯病の発生にも注意する。</p> <p>(3) 7月におけるカメムシ類の生息密度はやや少ないが、今後はやや増加傾向を示すと予想される。</p> | <p>1 生育状況</p> <p>早・中生種では、穂肥診断をもとに、適切な穂肥時期、施肥量を判定する。</p> <p>極早生種では、成熟期まで適切な水管理を行い、落水を急がない。</p> <p>乳白米や登熟不良による品質低下を防ぐため、水管理は、湿潤(飽水)状態で行い、根の活力の維持に努める。</p> <p>2 病害虫</p> <p>(1) 圃場によって葉いもちの発生程度が大きく異なるので、葉色の濃い箇所や日当たりの悪い箇所など水田内に入ってよく観察し、いもち病が発病していないかを確認する。進行型病斑の多い場合は、治療効果の高い薬剤で防除する。</p> <p>(2) ウンカ類の長期残効性の箱施用剤が散布されたイネにおいても、薬効切れに伴い発生が増える場合もあるので、圃場内の発生に注意する。</p> <p>(3) カメムシ類の発生状況を確認したうえ、乳熟期～糊熟期に広域的に一斉防除を行う。畦畔・雑草地の除草は、出穂2週間前までに実施する。出穂間近な畦畔除草は、かえって圃場内へのカメムシ類の移動を促進するので避ける。</p> |

| 作物 | 地域   | 栽培上の留意点  | 対応策   |
|----|------|--|---|
| 大豆 | 全県共通 | <p>1 生育状況<br/>天候に恵まれ、播種作業は順調に進んだ。所により、播種直後の集中豪雨で圃場が滞水し、発芽不良、出芽の不揃いも見られる。</p> <p>2 病害虫<br/>茎疫病及び紫斑病の発生に注意する。<br/>ハスモンヨトウ・カメムシ類を始め、害虫の発生に注意する。</p> | <p>1 生育状況<br/>降雨後は、圃場内に雨水が滞水しないように、排水対策に努める。<br/>梅雨明け以降、土壌が乾燥する場合には走り水灌漑を行う。開花始めから子実肥大期までの期間は水分保持が最も重要な時期なので、圃場の乾燥には特に注意する。</p> <p>2 病害虫<br/>茎疫病対策として、排水対策を徹底する。<br/>紫斑病の防除適期は開花期、カメムシ類の防除適期は着莢初期～子実肥大期なので品種に応じた適期に防除する。<br/>ハスモンヨトウの若齢幼虫は、集団で葉上に棲息しているため、早期発見に努め、見つけしだい除去する。</p> |

栽培については、「稲・麦・大豆作等指導指針」を参考にすること。

〔参考〕水稲生育予測サイトによる出穂期の予測 (7/29現在)

| 地帯区分<br>地点<br>移植日<br>苗齢(不完全葉含む)<br>品種 | 県南平坦部<br>たつの市 揖保町<br>6/10<br>3.5<br>ヒノヒカリ | 県南平坦部<br>加東市 天神<br>6/5<br>4.5<br>山田錦 | 淡路平坦部<br>南あわじ市 榎列<br>6/20<br>3.5<br>キヌヒカリ |
|---------------------------------------|---|--------------------------------------|---|
| 推定出穂期                                 | 8.27                                      | 8.23                                 | 8.20                                      |
| 昨年推定出穂期                               | 8.26                                      | 8.22                                 | 8.19                                      |

(注) 予想出穂期は7/30以降、気温が平年並に推移した場合の予測値です。

| 作物   | 地域   | 栽培上の留意点   | 対応策  |
|------|------|---|--|
| キャベツ | 全県共通 | <p>1 栽培管理<br/>(1)育苗中の高温と中期以降の肥料切れに注意する。<br/>(2)適切な栽培圃場の確保と圃場準備に努める。<br/>(3)定植後の灌水等活着促進、欠株の防止に努める。<br/>(4)降雨による作業遅れ、台風、長雨による冠水に注意する。</p> <p>2 病害虫<br/>ハイマダラノメイガの発生は7月下旬以降に増加し、平年並みの発生と予想される。</p> | <p>1 栽培管理<br/>(1)被覆資材使用や浮かせ育苗など高温対策と、早めに液肥等による追肥を行う。<br/>(2)本田は定植後から収穫期まで灌水が可能な圃場を選び、弾丸暗きょや額縁明きょ等の排水対策を行う。適切な土壌水分時に耕うんし、高畝にする。<br/>(3)機械移植では、苗が直立し、鉢土が土壌に埋まるよう注意し、不十分なものは手直しする。定植後、灌水チューブ等で十分に灌水する。<br/>(4)排水溝の点検を常に行い、特に台風や大雨の前に溝をさらしておく。冠水時は早期の排水に努める。</p> <p>2 病害虫<br/>「病害虫発生予察情報」「兵庫県農薬情報システム」を参考に適正に防除する。</p> |

| 作物 | 地域       | 栽培上の留意点  | 対応策  |
|----|----------|--|--|
| 果樹 | 全県<br>共通 | <p>1 生育</p> <p>(1)高温乾燥による根や葉の傷みに留意する。</p> <p>(2)樹勢に応じた枝管理に努める。</p> <p>(3)適期収穫に努める。</p> <p>樹種別の生育状況</p> <p>クリ：生育、着球量とも平年並で、新梢伸長はやや劣る。</p> <p>ブドウ：生育はほぼ平年並みであるが、着粒にバラツキがあり、果粒肥大はやや劣る。また、一部日焼け等の発生がみられる。</p> <p>ナシ：一部の園で晩霜害により結実がやや悪かったが、その後の生育は順調で肥大は良好である。新梢の伸長は例年並みであるが、高温少雨のためやや伸長停止が早い。</p> <p>イチジク：着果開始が平年より2日程度遅い（昨年より9日程度早い）が、最近の好天により生育が進んでいる。</p> <p>温州ミカン：生理落果は平年並みで、果実肥大も平年並みである。</p> <p>2 台風対策</p> <p>3 病害虫</p> <p>ナシでは高温少雨傾向のためハダニ類の発生が例年より早く、多発傾向である。病害は少ない。</p> <p>チャバネアオカメムシは、5月以降フェロモントラップでの誘殺数は平年並みであるが、活動の活性化に伴い果実加害が増えるので注意する。</p> | <p>1 生育</p> <p>(1)高温乾燥が続く場合は、適度な土壌水分を維持するため、灌水、敷きわら等のマルチなど乾燥対策を行う。カンキツ類では、干ばつにより葉が巻き始めたら、1回あたり20～30mm程度の灌水を行う。</p> <p>(2)新梢が混み合っている場合は、必要に応じて新梢管理、夏期剪定を行う。</p> <p>(3)カラーチャートや糖度計を活用し、果皮色、糖度、果実の硬さ等から、収穫適期を判断する。</p> <p>2 台風対策</p> <p>枝折れ防止のため、枝の結束や支柱の強化を行う。防風ネットの補強や防風林の適切な刈り込みを行う。収穫可能な果実はできるだけ収穫しておく。雨水が速やかに園外に流れるよう、排水溝、排水口を点検する。</p> <p>台風通過後には、病害対策のため防除を行う。カンキツ類は台風襲来前や通過後にはかいよう病の予防散布を行う。黒点病は前回散布から降水量が200～250mmを超えたら、防除を行うと共に、感染拡大を防ぐため、枯れ枝除去を行う。イチジクは腐敗果を速やかに園外に持ち出し処分する。</p> <p>3 病害虫</p> <p>圃場でのアブラムシ類、ハダニ類、カメムシ類の発生を注視し、防除薬剤については、「兵庫県農薬情報システム」を参考に選定し、農薬使用基準を守るとともに周辺農地への飛散防止に努める。</p> |

野菜・果樹の情報については、原則2ヶ月ごとに作成します。  
防除については「病害虫発生予察情報」及び「兵庫県農薬情報システム」を参考にすること。

本情報は、7月29日時点のデータを元に作成しています。

2 気象予報

(1) 近畿地方の向こう1か月予報(7月26日～8月25日)

[平成26年7月24日 大阪管区气象台発表]

**【概要】**  
 平年に比べ晴れの日が多い見込み。  
 週別の気温は1週目は平年並の確率50%、2週目は平年並または高い確率ともに40%。

**【確率】**  
 気温、降水量及び日照時間 [近畿地方] □低い(少ない) □平年並 □高い(多い) (単位:%)

|      |    |    |    |
|------|----|----|----|
| 気温   | 20 | 40 | 40 |
| 降水量  | 30 | 40 | 30 |
| 日照時間 | 20 | 40 | 40 |

各週の気温経過 [近畿地方] □低い □平年並 □高い (単位:%)

|       |    |    |    |
|-------|----|----|----|
| 1週目   | 20 | 50 | 30 |
| 2週目   | 20 | 40 | 40 |
| 3～4週目 | 20 | 40 | 40 |

(2) 近畿地方の向こう3か月予報(8月～10月)

[平成26年7月25日 大阪管区气象台発表]

**【概要】**  
 平均気温は高い確率40%。  
 8月：平年と同様に晴れの日が多い見込み。気温は平年並または高い確率ともに40%。  
 9月：天気は数日の周期で変わる見込み。  
 10月：天気は数日の周期で変わる見込み。太平洋側では平年と同様に晴れの日が多い見込み。

**【確率】**  
 気温 [近畿地方] □低い □平年並 □高い (単位:%)

|     |    |    |    |
|-----|----|----|----|
| 3か月 | 30 | 30 | 40 |
| 8月  | 20 | 40 | 40 |
| 9月  | 30 | 40 | 30 |
| 10月 | 30 | 40 | 30 |

降水量 [近畿地方] □少ない □平年並 □多い (単位:%)

|     |    |    |    |
|-----|----|----|----|
| 3か月 | 30 | 40 | 30 |
| 8月  | 30 | 40 | 30 |
| 9月  | 30 | 40 | 30 |
| 10月 | 30 | 40 | 30 |

気温・降水量・日照時間は低い・平年並・高い(少ない・平年並・多い)の3階級で予報されます。階級の幅は、平年値の作成期間(1981～2010年)における各階級の出現率が33%となるように決めてあります。

ホームページアドレス

- ・「病害虫発生予察情報」  
<http://hyogo-nourinsuisangc.jp/chuo/bojo/index.htm>
- ・「兵庫県農業情報システム」  
<http://www.nouyaku-sys.com/nouyaku/user/top/hyogo>
- ・「プラスタム・病害虫発生情報携帯サイト」  
<http://hyogo-nourinsuisangc.jp/mobile>
- ・「近畿中国四国地域水稻生育予測サイト」  
<http://tekisaku.jp/ricediag/>



プラスタム・病害虫発生  
 情報携帯サイトQRコード

問い合わせ先

本情報に関すること

- ・兵庫県農政環境部農林水産局農産園芸課 TEL (078)341-7711(代表)
- 農産班:農産担当 内線 4074
- 農産班:野菜担当 内線 4054
- 花き果樹班 内線 4066

技術内容に関すること

- ・県立農林水産技術総合センター
- 企画調整・経営支援部 TEL (0790)47-2435
- 農業技術センター 農産園芸部 TEL (0790)47-2410
- 農業技術センター 病害虫部 TEL (0790)47-1222
- 北部農業技術センター 農業・加工流通部 TEL (079)674-1230
- 淡路農業技術センター 農業部 TEL (0799)42-4880

兵庫県ホームページでも本情報を公開しています。

URL: [http://web.pref.hyogo.lg.jp/af11/af11\\_000000097.html](http://web.pref.hyogo.lg.jp/af11/af11_000000097.html)

(兵庫県トップページ>食・農林水産>農業>農作物>農業気象技術情報)